

# 2学期制の目的は・・・

平成18年度から、橋本市立小・中学校で2学期制を導入します。2学期制の導入と、これに伴い長期休業を弾力的に運用することによって、授業や学校行事のあり方などについて創意工夫し、授業時間の確保を図りながら、ゆとりの中で子どもたちが確かな学力を身につけるようにすることを目的としています。

## 年間授業日数





3学期制	1学期	約 70日	
	2学期	約 80日	
	3学期	約 50日	
年間			約 200日
2学期制	1学期	約 100日	
	2学期	約 100日	
	年間	約 200日	




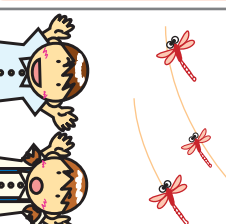


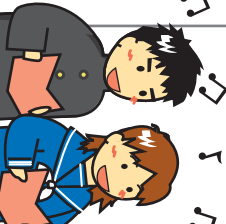
- ・日数は、おおよその目安です。
- ・日数は変わりませんが、授業時数の増加を図ることができます。
- ・学期や学期の長さは、学校長が申請し教育委員会の承認を得ることにより変更することがあります。
- ・学校により、日数が異なることがあります。

西部中学校区、紀見東中学校区の小中学校は、平成15年度から平成17年度まで文部科学省の研究開発学校の指定を受けている関係で、平成19年度からの導入になります。

## 2学期制にした1年間のながれ

## 2学期制を導入すると・・・

- 
**2学期制にすることで生み出された授業時数の活用を考える中で、確かな学力をつける取組や子どもの主体性を育む活動などを充実させることができます。**
  - ・基礎学力定着のための指導を計画的に行うことができます。
  - ・教科の指導時数を単元ごとに計画し、(県)学力診断テスト等から明らかになっていく各学校の課題を計画的に指導することができます。
  - ・特設の学習機会を設定し体験的・実践的な学習を計画的に行うことができます。
- 
**時間的なゆとりをもって連続性のある学習活動を展開できます。**
  - ・3学期制に比べて長い学期を生かすことで、子どもたちが課題にじっくりと向き合ったゆとりのある学校生活を送ることができます。
  - ・学期の途中にある長期休業の有効活用を図ることにより、学びに連続性のある学習、補充や発展の学習が可能になります。
- 
**2学期制と長期休業の弾力的な運用を考えることにより、今まで以上に充実した特色ある教育課程を編成することができます。**
  - ・長期休業前の授業時数が今までに比べ確保できるとともに、充実した指導を行うことができます。
  - ・長期休業中に一人ひとりが課題を持って過ごすことができるように、一人ひとりの学びに沿った支援や指導を行うことができます。
- 
**各学校で2学期制の検討を行うことにより、教職員がこれまでの教育活動を見直すことで学校改革を推進することができます。**
  - ・学校行事、教育課程等、日々の教育活動を目指設定から内容、評価まで見直すことにより、学校の活性化を図ることができます。
  - ・小学校と中学校が連携しながら学校改革を進めることにより、小学校と中学校の段差をなめらかにすることができます。
  - ・教育活動を見直すなかで、魅力ある学校づくりにつなげることができます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春休み 4/1~4/7 始業式		 1+3=4 5=		夏休み 7/21~8/31		終業式 十月第三・日・月 始業式			冬休み 12/25~1/7		終業式 3/25~3/31 春休み

**1学期** (4月1日から10月第2月曜日まで)

**2学期** (10月第2月曜日翌日から翌年3月31日まで)

※学期の区切りは、各学校によって異なる場合があります。  
※春休み、夏休み、冬休みなど、休業日の時期や日数は、各学校によって異なる場合があります。